

第2章 西東京市の環境の概況

西東京市の環境について、みなさんは日ごろどのように感じているでしょうか。ここでは、西東京市の特性を、数値やグラフなどをもとに紹介します。

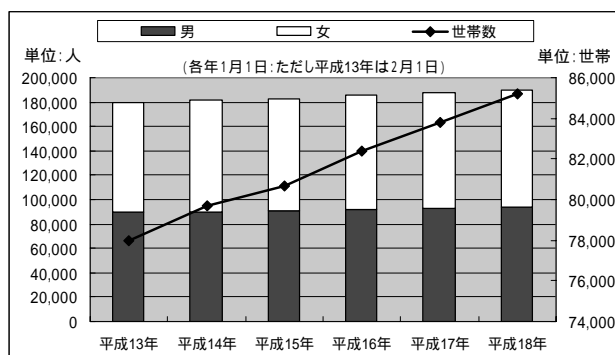
1 立地

西東京市は、東京都区部の西部地域に隣接し、武蔵野台地のほぼ中央に位置しています。都心から約20 kmで、西武新宿線と西武池袋線で都心と結ばれ、市内には5つの駅(田無駅・ひばりが丘駅・保谷駅・西武柳沢駅・東伏見駅)があります。北は埼玉県新座市、南は武蔵野市および小金井市、東は練馬区、西は小平市および東久留米市に接しています。東西4.8 km。南北5.6 km、面積は15.85 km²です

2 人口・世帯数

平成18年(2006年)1月1日現在の西東京市の人口は、189,904人です。合併時である平成13年(2001年)2月1日の人口は179,678人でしたので、約5年間で1万人以上増えています。

このまま市内の人口が増加していくと、人が増えることによる環境の変化も速くなり、さまざまな環境への影響が出てくると考えられます。



資料：市民課

近隣市の人口の推移を見ると、昭和40年代は人口の伸び率も高く多摩地区のベッドタウン化が進められてきました。昭和50年代後半になると伸び率も落ち着きはじめ、平成になってからは3%前後の伸び率で、横ばいで推移しています。

近隣市の人口推移

各年10月1日現在

	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
武蔵野市 (伸び率)	136,959人 (2.6%)	139,508人 (1.9%)	136,910人 (-1.9%)	138,783人 (1.4%)	139,077人 (0.2%)	135,051人 (-2.9%)	135,746人 (0.5%)	137,464人 (1.3%)
三鷹市 (伸び率)	155,693人 (14.6%)	164,950人 (5.9%)	164,526人 (-0.3%)	166,252人 (1.0%)	165,564人 (-0.4%)	165,721人 (0.1%)	171,612人 (3.6%)	177,031人 (3.2%)
小金井市 (伸び率)	94,448人 (23.7%)	102,714人 (8.8%)	102,456人 (-0.3%)	104,642人 (2.1%)	105,899人 (1.2%)	109,276人 (3.2%)	111,825人 (2.3%)	114,114人 (2.0%)
小平市 (伸び率)	137,373人 (30.4%)	156,181人 (13.7%)	154,610人 (-1.0%)	158,673人 (2.6%)	164,013人 (3.7%)	172,946人 (5.4%)	178,623人 (3.3%)	183,792人 (2.9%)
清瀬市 (伸び率)	51,911人 (42.4%)	60,574人 (16.7%)	61,913人 (2.2%)	65,066人 (5.1%)	67,539人 (3.8%)	67,386人 (-0.2%)	68,037人 (1.0%)	73,524人 (8.1%)
東久留米市 (伸び率)	78,075人 (65.2%)	100,821人 (29.1%)	106,556人 (5.7%)	110,079人 (3.3%)	113,818人 (3.4%)	111,097人 (-2.4%)	113,302人 (2.0%)	115,286人 (1.8%)
西東京市 (伸び率)	144,660人 (20.1%)	158,979人 (9.9%)	158,235人 (-0.5%)	162,899人 (2.9%)	170,290人 (4.5%)	175,073人 (2.8%)	180,885人 (3.3%)	189,749人 (4.9%)

資料：東京としようけい 平成17年度版

3 土地・気候

江戸時代の西東京市を含む地域は、幕府による武蔵野の新田開発が進められたことから、農業生産力が向上していったことに伴い、一大農村として発展していきました。

そのような背景の中、現在の西東京市の土地割合を見てみると、畑の割合は、平成13年(2001年)が13.8%であったのに対し、平成17年(2005年)には12.3%になり1.5ポイント減少しています。逆に宅地の割合は、平成13年(2001年)で57.3%、平成17年(2005年)で58.6%になっており、1.3ポイント上昇しています。人口の増加に伴って畑が減少し、宅地が増加していることが分かります。また、大規模な工場が住宅地へと変わっていることも要因の1つであると考えられます。

地目別土地面積

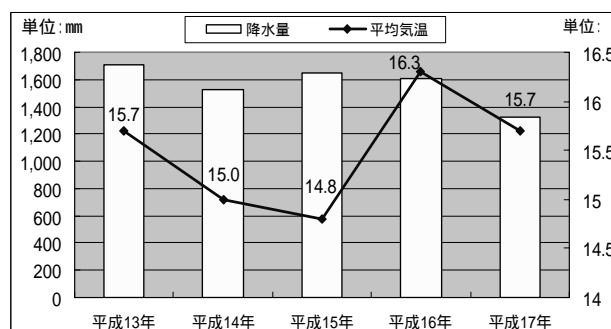
各年1月1日現在

	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
畑 (構成比)	2,181,300 m ² (13.8%)	2,146,750 m ² (13.5%)	2,114,863 m ² (13.3%)	2,064,352 m ² (13.0%)	1,954,836 m ² (12.3%)
宅地 (構成比)	9,075,496 m ² (57.3%)	9,090,678 m ² (57.4%)	9,189,827 m ² (58.0%)	9,236,344 m ² (58.3%)	9,283,195 m ² (58.6%)
山林 (構成比)	135,819 m ² (0.8%)	135,535 m ² (0.8%)	134,286 m ² (0.8%)	134,176 m ² (0.8%)	115,386 m ² (0.7%)
雑種地 (構成比)	488,661 m ² (3.1%)	486,815 m ² (3.1%)	483,863 m ² (3.1%)	500,222 m ² (3.2%)	457,180 m ² (2.9%)
その他 (構成比)	3,968,724 m ² (25.0%)	3,990,222 m ² (25.2%)	3,927,161 m ² (24.8%)	3,914,906 m ² (24.7%)	4,039,403 m ² (25.5%)
合計	15,850,000 m ² (100.0%)	15,850,000 m ² (100.0%)	15,850,000 m ² (100.0%)	15,850,000 m ² (100.0%)	15,850,000 m ² (100.0%)

資料：統計にしとうきょう 平成17年度版

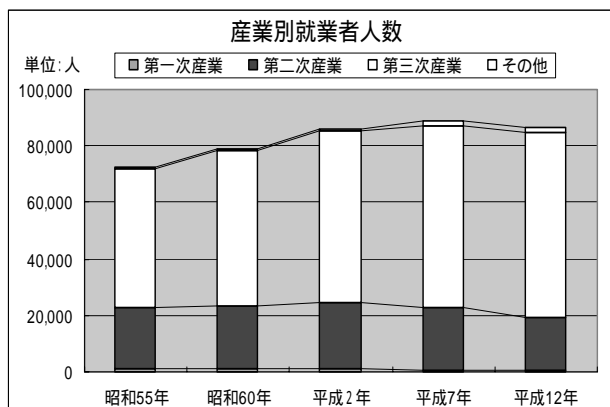
1年を通じての平均気温は約15前後、年間降水量は約1,500mm前後。気温は温和で、住宅都市としての環境を備えているといえます。ただし、平成15年の冷夏や、近年、都市部特有のヒートアイランド現象と見られる熱帯夜の増加にみられるように、西東京市でも広域的規模の気候変化の影響を受ける状況が多くなってきています。

平均気温と年間降水量



資料：統計にしとうきょう 平成17年度版

4 産業



西東京市の産業別就業者人数をしてみると、平成12年(2000年)の時点で第一次産業は0.8%、第二次産業は21.2%、第三次産業は75.8%となっており、第三次産業が大半を占めています。

第三次産業の中でも、サービス業が約3万人、卸売・小売業が約2万人となっており、江戸時代から街道の宿場町として発展してきた流れが、今も残っているといえます。

資料：統計にしとうきょう 平成17年度版

産業別就業者人数(詳細)

各年10月1日現在

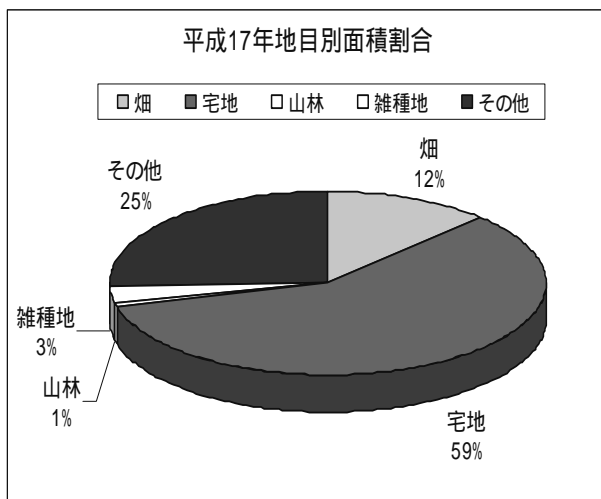
	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
第一次産業	909人 (1.2%)	918人 (1.2%)	898人 (1.1%)	777人 (0.9%)	735人 (0.8%)
農業	889人	895人	890人	775人	727人
林業・狩猟業	6人	3人	4人	1人	5人
漁業・水産業殖業	14人	20人	4人	1人	3人
第二次産業	22,179人 (30.7%)	22,560人 (28.6%)	23,622人 (27.5%)	21,951人 (24.7%)	18,415人 (21.3%)
鉱業	88人	96人	64人	26人	50人
建設業	7,102人	7,413人	8,530人	8,952人	7,765人
製造業	14,989人	15,051人	15,028人	12,973人	10,600人
第三次産業	49,112人 (67.9%)	55,089人 (69.9%)	60,633人 (70.6%)	64,671人 (72.6%)	65,722人 (75.8%)
卸売・小売業	17,841人	19,470人	20,261人	20,939人	20,540人
金融・保険業	4,307人	4,521人	5,148人	5,021人	4,294人
不動産業	1,225人	1,319人	1,899人	2,050人	1,947人
運輸・通信業	4,006人	4,275人	4,413人	4,706人	4,631人
電気・ガス・水道・熱供給業	374人	345人	288人	306人	260人
サービス業	18,102人	22,183人	25,911人	28,912人	31,317人
公務	3,257人	2,976人	2,713人	2,737人	2,733人
その他(分類不能)	120人 (0.2%)	234人 (0.3%)	690人 (0.8%)	1,633人 (1.8%)	1,796人 (2.1%)
合計	72,320人 (100.0%)	78,801人 (100.0%)	85,843人 (100.0%)	89,032人 (100.0%)	86,668人 (100.0%)

資料：統計にしとうきょう 平成17年度版

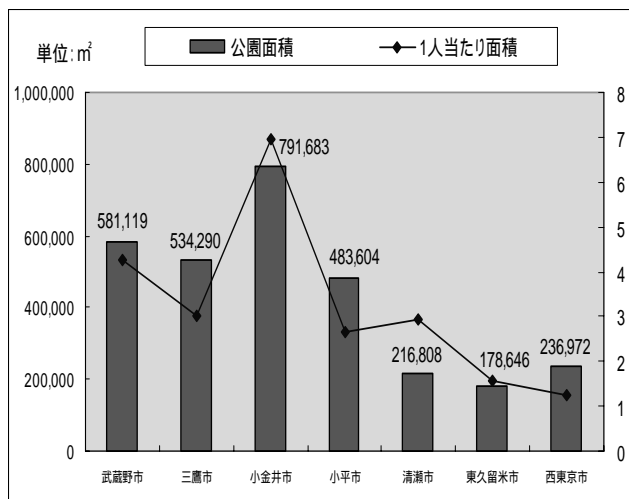
5 みどりと公園

西武新宿線と西武池袋線により都心方面と結ばれた交通の利便性から、これまで住宅都市として発展してきましたが、市内の各所に雑木林・屋敷林・農地がみられ、武蔵野の面影が残されています。しかし近年は、相続や宅地開発により、貴重なみどりが失われつつあります。

また、平成17年度（2005年度）には「いこいの森公園」など設置して、市内の公園面積の拡大に努めていますが、周辺市と比較して1人あたりの公園面積が少ない現状です。



資料：統計にしようきょう 平成17年度版

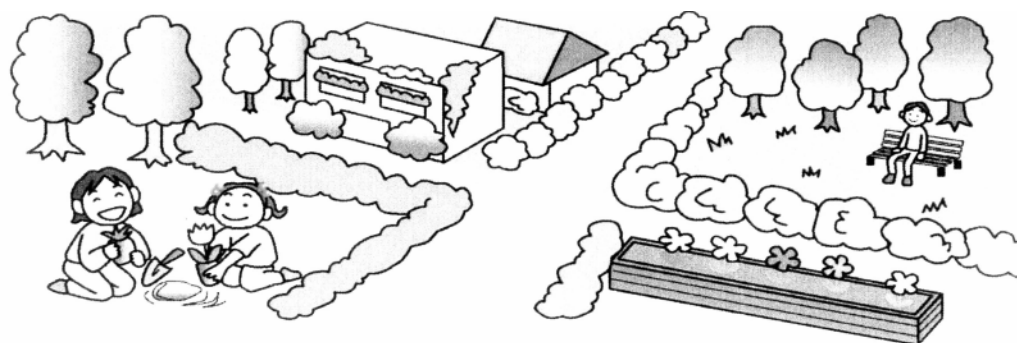


資料：多摩地域データブック 平成17年度版

近隣市公園数等（平成17年度）

	総面積	公園数	公園面積	1人当たり公園面積
武蔵野市	10,730,000 m ²	149 箇所	581,119 m ²	4.25 m ² /人
三鷹市	16,500,000 m ²	182 箇所	534,290 m ²	3.01 m ² /人
小金井市	11,330,000 m ²	126 箇所	791,683 m ²	6.95 m ² /人
小平市	20,460,000 m ²	267 箇所	483,604 m ²	2.65 m ² /人
清瀬市	10,190,000 m ²	86 箇所	216,808 m ²	2.95 m ² /人
東久留米市	12,920,000 m ²	116 箇所	178,646 m ²	1.56 m ² /人
西東京市	15,850,000 m ²	191 箇所	236,972 m ²	1.26 m ² /人

資料：多摩地域データブック 平成17年度版



6 身近な環境問題

私たちをとりまく生活の中で、身近なものとして、大気、水質、土壌汚染、騒音、振動など、さまざまな環境に関する問題に直面しています。その中でも、市が苦情等として受付け、身近で多いものが「騒音」の問題です。特に生活騒音は、住宅が密集しているところで家庭や飲食店などを発生源とする苦情が目立っています。

お店のカラオケや住宅のエアコン室外機の音、ペットの鳴き声などの生活騒音の解決には、人を思いやる心配りや地域のルールづくりを取決めることが大事です。

公害苦情受付状況（平成15年度）

	総数	典型7公害								その他
		大気	水質	土壌	騒音	振動	地盤	悪臭		
武蔵野市	179件	122件	26件	1件	-	58件	8件	-	29件	57件
三鷹市	166件	149件	61件	2件	-	58件	7件	-	21件	17件
小金井市	123件	95件	35件	-	-	32件	5件	-	23件	28件
小平市	104件	101件	50件	1件	-	28件	3件	-	19件	3件
清瀬市	39件	32件	16件	1件	-	11件	-	-	4件	7件
東久留米市	89件	62件	40件	1件	-	13件	1件	-	7件	27件
西東京市	81件	70件	15件	-	3件	32件	7件	-	13件	11件

東京都環境局総務部企画調整課資料